

株式会社INPEX

2023年12月期 決算説明会

2024年2月13日



1. 事業活動報告

2. 2023年12月期 決算説明

3. 2024年12月期 業績予想

参考資料

当プレゼンテーションは、当社の計画と見通しを反映した、将来予想に関する記述に該当する情報を含んでおります。かかる将来予想に関する情報は、現在入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性およびその他の要因が内在しております。かかるリスク、不確実性およびその他の要因は、かかる将来予想に関する情報に明示的または黙示的に示される当社の将来における業績、経営結果、財務内容に関してこれらと大幅に異なる結果をもたらす可能性があります。かかるリスク、不確実性およびその他の要因には下記のものが含まれますが、これらに限られるものではありません。

- 原油および天然ガスの価格変動及び需要の変化
- 為替レートの変動
- 探鉱・開発・生産に関連するコストまたはその他の支出の変化

当プレゼンテーションに掲載される情報（将来予想に関する情報を含む）を、その掲載日後において、更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

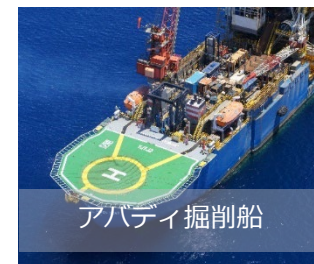
1. 事業活動報告

INPEX

代表取締役社長
上田 隆之

2023年度の事業活動トピックス（石油・天然ガス分野）

生産	イクシスLNG	<ul style="list-style-type: none"> 概ね堅調な操業を継続し、年間で129のLNGカーゴを出荷 930万トン生産のための施設能力向上を確認 利益貢献額は3,026億円
	アブダビ 海上油田・陸上鉦区	<ul style="list-style-type: none"> 安定操業と生産能力の増強を継続
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ノルウェーにおいて、浮体式洋上風力発電設備からスノーレ油田への電力供給開始
Pre-FID	アバディLNG	<ul style="list-style-type: none"> プラタミナ及びペトロナスが新たなパートナーとして参画 CCSを追加した改定開発計画をインドネシア政府が承認
探鉱・その他	イクシス周辺	<ul style="list-style-type: none"> WA-285-P鉦区での試掘井掘削作業を完了し、次いでWA-343-Pの試掘作業を開始 AC/RL7鉦区（Cash Maple）を新規取得
	アブダビBlock4	<ul style="list-style-type: none"> 試掘・評価井の掘削作業を実施
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ノルウェーにおいて新規探鉱3鉦区を取得 マレーシアにおける新規生産分与契約を2件調印、探鉱作業を開始 国内において両毛ライン複線化第一期工事の完工



生産	イクシスLNG	<ul style="list-style-type: none"> • 権益比率が66.245%から67.82%に増加（東京ガス株式会社との契約における先行条件の充足が条件） • 大規模な計画シャットダウンメンテナンスの予定なし • 月に11隻程度のLNGカーゴの出荷を見込む • 安全操業、設備稼働率の向上を通じ、930万トンの生産を目指す • 利益貢献額は約2,200億円を見込む • 2030年代の稼働に向け、第3トレイン拡張に向けた案件評価を継続中
	アブダビ 海上油田・陸上鉱区	<ul style="list-style-type: none"> • 更なる増産に向け生産能力の増強を継続
	その他	<ul style="list-style-type: none"> • ノルウェーにおいて、既発見未開発油ガス田の開発検討を継続
Pre-FID	アバディLNG	<ul style="list-style-type: none"> • 基本設計作業（FEED）等、最終投資決定（FID）に必要な準備作業を進めていく • FEEDと並行してマーケティングやファイナンスなどその他必要な作業を推進
探鉱・その他	イクシス周辺	<ul style="list-style-type: none"> • WA-343-P鉱区での試掘井掘削の継続、AC/RL7鉱区（Cash Maple）等の開発に向けたスタディを継続 • AC/P66鉱区での3D震探収録
	アブダビBlock4	<ul style="list-style-type: none"> • 試掘井の掘削作業及び開発・生産フェーズ移行の可能性について評価作業を実施
	その他	<ul style="list-style-type: none"> • ノルウェーにおいて新規探鉱5鉱区を落札。今後も新規応札を検討 • マレーシアにおいて新規生産分与契約を1件調印。今後も同国にて事業基盤の強化を目指す

水素・アンモニア

- 新潟県柏崎市/ブルー水素・アンモニア製造・利用一貫実証試験の地上設備建設を開始
- テキサス州ヒューストン港における大規模低炭素アンモニア事業のPre-FEEDを開始



CCS・CCUS

- オーストラリア北部準州沖合ボナパルト堆積盆地 (GHGアセスメント鉱区：G-7-AP) における貯留層評価、新規3D震探収録及び掘削作業に向けた準備作業等を実施
- JOGMECによる令和5年度「先進的CCS事業の実施に係る調査」委託事業において、当社が関与する「首都圏CCS事業」と「日本海側東北地方CCS事業」が採択

再生可能 エネルギー

- 再エネ電源開発及び再エネ電力のリテール・トレーディング事業等を行う豪州Enel Green Power Australia (EGPA社) の株式50%を取得
- スコットランド沖合/モーレイイースト洋上風力発電所の一部持分の取得完了
- 当社持分再エネ発電容量は2023年度末時点で628MW*に到達（中期経営計画目標500MW）



カーボンリサイクル・ 新分野

- 新潟県長岡市におけるメタネーション試験設備（400Nm³/h）の建設に着手



森林保全

- カーボンニュートラル商品（ガス・ジェット燃料等）の販売
- 新たな森林クレジット獲得に向けたプロジェクト評価の実施

* 建設中を含む

水素・アンモニア

- 新潟県柏崎市/ブルー水素・アンモニア製造・利用一貫実証試験において、2025年3月に試運転を開始、2025年8月での完工を目指し建設作業を推進
- テキサス州ヒューストン港における大規模低炭素アンモニア事業を始め、国内外のグリーン水素・アンモニア事業を推進し、2020年代後半～2030年頃の商業生産開始を目指す

CCS・CCUS

- オーストラリア北部準州沖合ボナパルト堆積盆地（GHGアセスメント鉱区：G-7-AP）において、2024年に新規3D震探収録及び掘削作業を実施。貯留層評価の更新やCCS事業性の評価を行い、2020年代後半のCO₂圧入開始を目指す
- 日本における「首都圏CCS事業」と「日本海側東北地方CCS事業」において、先進的CCS事業としての次フェーズ採択を念頭に事業化検討を推進し、2030年操業開始を目指す

再生可能エネルギー

- 豪州におけるEGPA社を通じての事業は、再エネ電源の開発に留まらず、再エネ電力供給のバリューチェーンを構築し、当社再エネ事業の1つの柱とする
 - Develop & Sell、リテール・トレーディングも含めた再エネ電力の付加価値向上、収益獲得の多層化を目指す
 - 2030年までの持分発電容量としては、1GW以上を目指す

カーボンリサイクル・新分野

- 新潟県長岡市/メタネーション実証において、2025年8月の試運転開始、2026年2月の完工を目指し建設作業を推進

森林保全

- カーボンニュートラル商品（ガス・ジェット燃料等）の販売
- 優良な森林保全事業からのクレジットの取得に加えて、事業参画を検討

中期経営計画の進捗

経営目標・事業目標

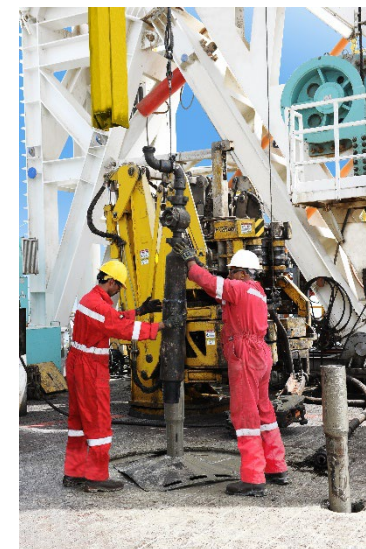
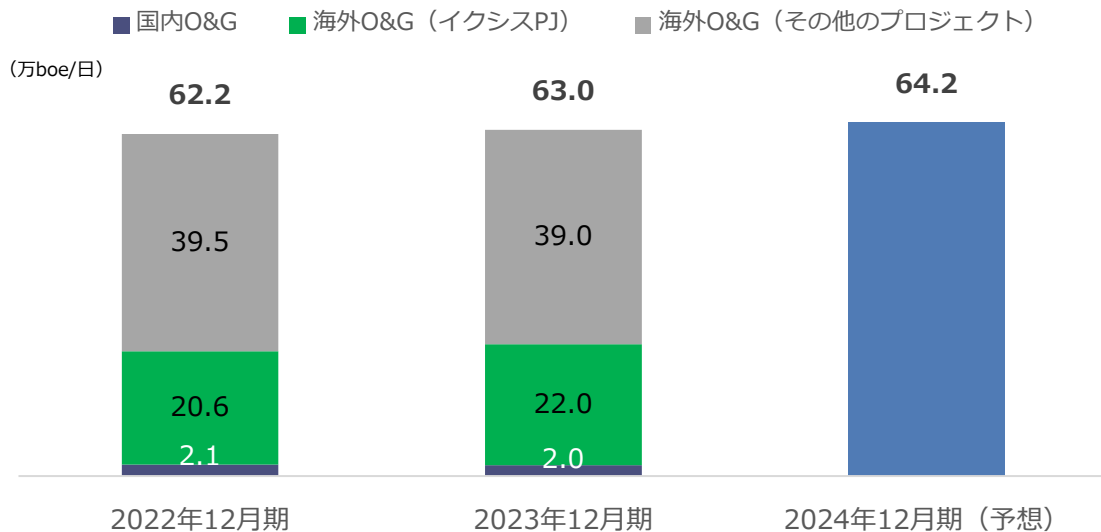


	2022年12月期 (実績)	2023年12月期 (実績)	2024年12月期 (通期予想)	2024年12月期 中計目標	
前提条件	ブレント原油価格 (米ドル/バレル)	99.04	82.17	73.0	60ドル/バレル 70ドル/バレル
	為替 (円/米ドル)	131.64	140.66	138.0	110円/米ドル 110円/米ドル
経営目標指標	親会社株主に帰属する当期純利益 ※2024年度見直しについては親会社の所有者に帰属する当期利益	4,610億円	3,715億円	3,300億円*1	1,700億円 2,400億円
	探鉱前営業キャッシュフロー ※イクシス下流J JV込みの数値であり制度会計ベースとは異なる	10,616億円	10,620億円	7,140億円*1	6,000億円 7,000億円
	ROE	13.5%	9.4%	7.7%*1	6.0%程度 8.0%程度
	ネットD/Eレシオ ※イクシス下流J JV込みの数値であり制度会計ベースとは異なる	46.0%	31.9%	30%*1	50%以下 50%以下
事業目標指標	ネット生産量 (原油換算、日量)	62.2万バレル	63.0万バレル	64.2万バレル	日量70万バレルを上回る水準へ
	バレル当たり生産コスト (ロイヤリティを除く)	5.8米ドル/バレル	5.6米ドル/バレル	5.6米ドル/バレル	5ドル/バレル以下へ向けて削減
	GHG原単位 ※GHG原単位 = (エクイティシェア排出量 (Scope 1+2) - オフセット) ÷ (石油・天然ガス上流事業のネット生産量+再生可能エネルギー事業の発電量)	28kg/boe	29kg/boe*2	29kg/boe	2030年目標の達成に向け、 3年間で10% (4.1kg/boe) 以上低減 ※2030年目標：2019年排出原単位41.1kg/boeから 30%以上低減
	安全	重大な事故ゼロ	重大な事故ゼロ	重大な事故ゼロ を目指す	重大な事故ゼロ ※重大な事故：オペレーター事業における死亡事故、重大 漏洩、重篤負傷

*1 IFRSベース

*2 2023年12月末時点で確認可能な排出量の暫定値

中期経営計画の進捗 ネット生産量（原油換算・日量）*

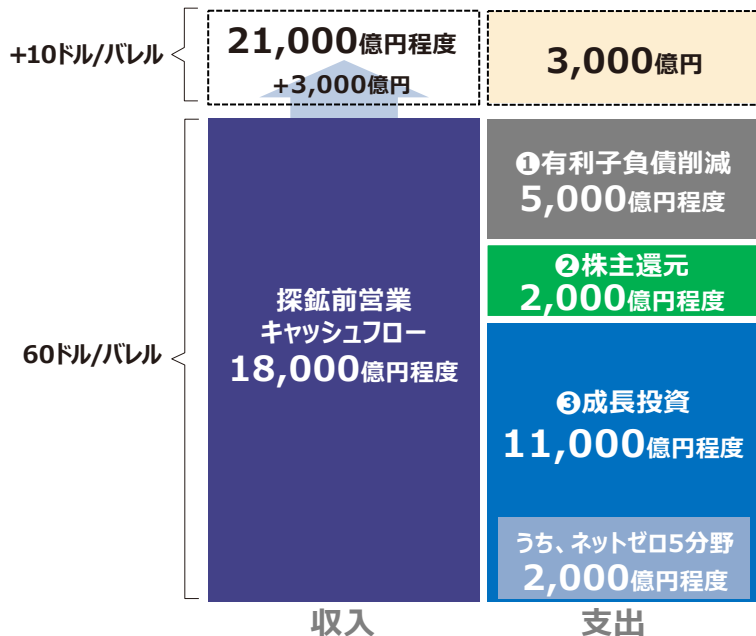


上部ザクム油田操業現場

* 当社グループが締結している生産分与契約にかかる当社グループの生産量は、正味経済的取分に相当する数値

中期経営計画の進捗 資金配分

中期経営計画における
2022年-2024年（3年間）の資金配分想定
前提：イクシス下流IJV込み、為替110円



2022年-2024年（3年間）の資金配分
前提：イクシス下流IJV込み、2024年は予想
3ヶ年平均：ブレント油価84.7ドル、為替136.8円



2023年度の株主還元（実績）

年間配当金
74円/株
(前年比+12円)

自己株式取得
1,000億円

総還元性向（年間） **52.5%**

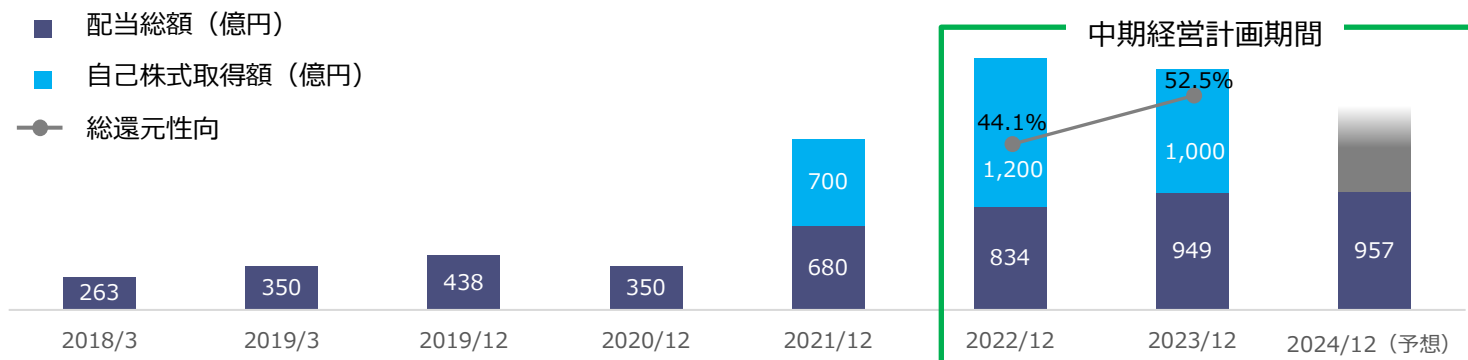
2024年度の株主還元（予想）

年間配当金
76円/株
(前年比+2円)

事業環境、財務体質、経営状況等を踏まえ、追加還元を検討

総還元性向（年間） **40%以上**

配当総額・自己株式取得額（億円）



ROEと株主資本コストを意識しつつ、WACCを上回るROICの安定的確保を実現する。

	2023年度 (実績)	2024年度 (通期予想)
期中平均油価 (Brent) (\$/bbl)	82.17	73.0
期中平均為替 (¥/\$)	140.66	138.0
ROIC (%)	8.7%	6.8%
WACC* (%)	6.4%	6.6%
ROE (%)	9.4%	7.7%
株主資本コスト* (%)	8.8%	8.8%

* 2024年1月算出のCAPMベースの当社試算値

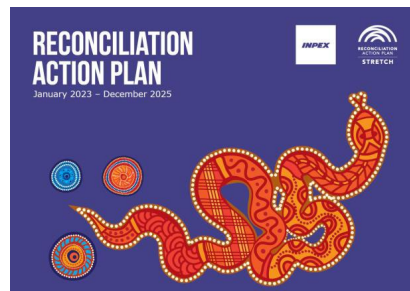
Environment/環境

- 国連環境計画（UNEP）によって設立されたOGMP2.0*に本邦企業として初めて加入。今後、当社はOGMP2.0の報告枠組に従い、メタン排出削減を促す包括的、かつ測定に基づく報告を行うことで、メタン排出報告量の正確性と透明性を確保
- CDP（Carbon Disclosure Project）において、2023年度の評価で、Aマイナスを維持



Social/社会

- D&Iに関する基本的な考え方にに基づき、女性が十分に力を発揮できる環境整備に積極的に取り組んでいる（例：ジェンダーバイアス研修の実施、次世代女性リーダープログラムへの派遣等）。また、ポジティブアクションとして、女性管理職となり得る人材を積極的にキャリア採用している
- オーストラリア先住民社会との3期目となる「協調活動計画（RAP）2023-2025年版」の発表と取組みの開始。先住民の直接雇用の増加や先住民経営の企業からの調達機会拡大などを目標に掲げている



Governance/ガバナンス

- 取締役会をUAEアブダビにて開催。コアエリアにおける現地のステークホルダー（パートナー・地域コミュニティ等）と取締役会との関係を深化
- 取締役会の実効性評価において第三者評価を実施中。事務局による集計・分析やアクションプラン設定の過程の妥当性を第三者の目線から検証（第三者評価は定期的実施）



* The Oil & Gas Methane Partnership 2.0

2. 2023年12月期 決算説明

INPEX

取締役 専務執行役員
財務・経理本部長
山田 大介

	2022年12月期 (実績)	2023年12月期 (実績)	増減	増減率
期中平均油価 (Brent) (\$/bbl)	99.04	82.17	△ 16.87	△ 17.0%
期中平均為替 (¥/\$)	131.64	140.66	9円02銭円安	6.9%円安
売上高 (億円)	23,246	21,657	△ 1,589	△ 6.8%
営業利益 (億円)	12,464	11,218	△ 1,245	△ 10.0%
経常利益*1 (億円)	14,419	13,504	△ 915	△ 6.3%
親会社株主に帰属する純利益*1 (億円)	4,610	3,715	△ 895	△ 19.4%
1株当たり純利益*1 *2 (円)	337.37	287.05	△ 50.32	△ 14.9%
ネット有利子負債*3 (億円)	17,315	13,202	△ 4,113	△ 23.8%
ネットD/Eレシオ*3 (%)	46.0%	31.9%	△ 14.1%	—

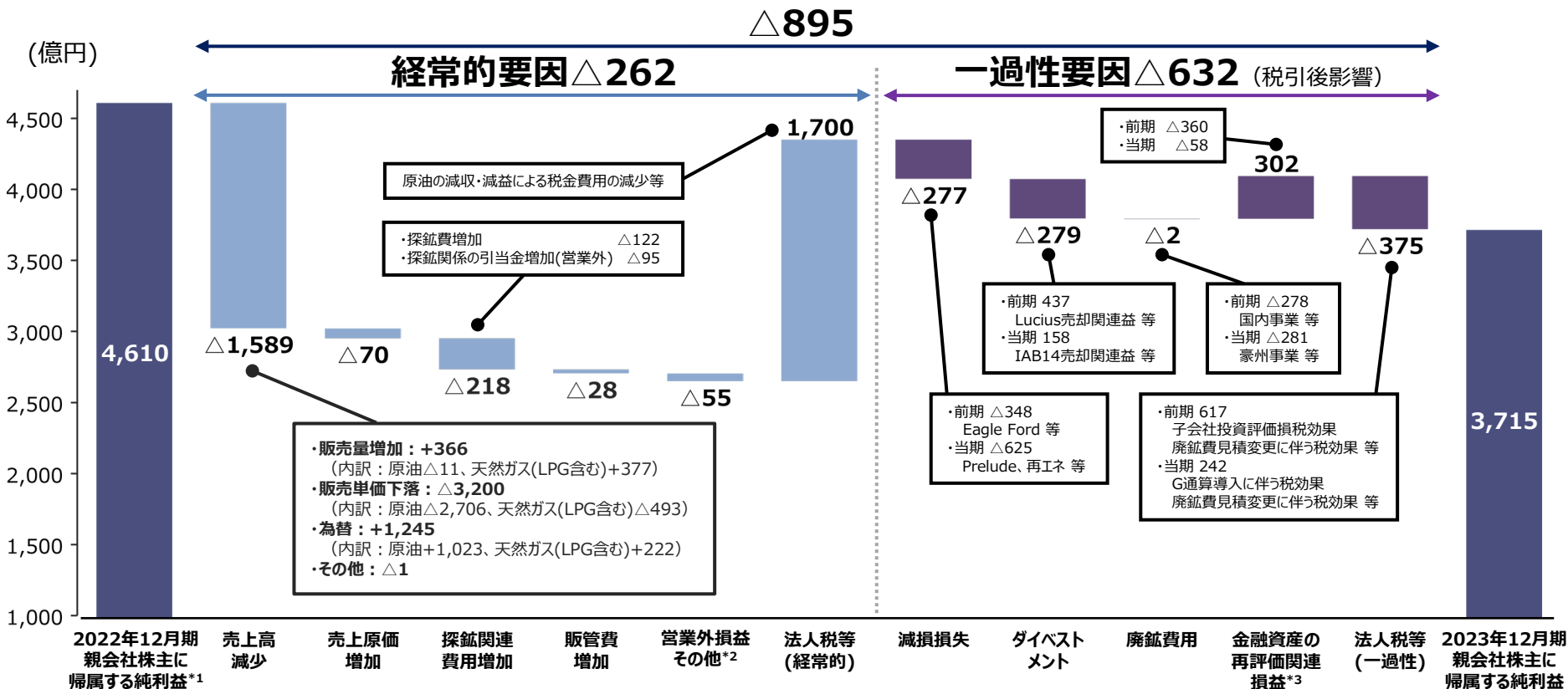
*1 2023年より一部の在外連結子会社及び在外持分法適用関連会社において、国際会計基準 (IAS) 第12号「法人所得税」(2021年5月改訂) を適用しており、比較年度である2022年12月期決算の数値が修正されています。

*2 2022年12月期 期中平均株式数: 1,366,647,207株、2023年12月期 期中平均株式数: 1,294,325,142株

*3 イクシス下流JV込みの数値であり、制度会計ベースとは異なります。

		2022年12月期	2023年12月期	増減	増減率
原油	売上高 (億円)	17,786	16,092	△ 1,694	△ 9.5%
	販売量 (千bbl)	138,116	138,024	△ 92	△ 0.1%
	海外平均単価 (\$/bbl)	97.71	82.83	△ 14.88	△ 15.2%
	平均為替 (¥/\$)	131.80	140.78	8円98銭円安	6.8%円安
天然ガス (LPG除く)	売上高 (億円)	5,216	5,278	62	1.2%
	販売量 (百万cf)	442,416	479,814	37,398	8.5%
	海外生産分平均単価 (\$/千cf)	6.89	5.62	△ 1.27	△ 18.4%
	国内分平均単価 (¥/m ³)	81.98	90.08	8.10	9.9%
	平均為替 (¥/\$)	132.46	140.20	7円74銭円安	5.8%円安
LPG	売上高 (億円)	34	78	44	127.3%
	販売量 (千bbl)	109	452	343	315.2%
	海外生産分平均単価 (\$/bbl)	63.85	46.68	△ 17.17	△ 26.9%
	平均為替 (¥/\$)	127.86	139.65	11円79銭円安	9.2%円安

* 1m³当たり41.8605MJ



*1 2023年より一部の在外連結子会社及び在外持分法適用関連会社において、国際会計基準 (IAS) 第12号「法人所得税」(2021年5月改訂) を適用しており、比較年度である2022年12月期決算の数値が修正されています。

*2 非支配株主損益については、本スライド上「営業外損益その他」に含めております。

*3 イクシスプロジェクト関連の在外子会社が適用する国際財務報告基準 (IFRS) 第9号「金融商品」に基づき計上した、認識の中止を伴わない金融資産の条件変更、及び金融資産の見積将来キャッシュ・フローの改定等から生じた損益。

3. 2024年12月期 業績予想

INPEX

取締役 専務執行役員
財務・経理本部長
山田 大介

2024年12月期 業績予想 (IFRS)

(億円)

通期	Brent 油価 (US\$/bbl)	73.0
	為替レート (円/US\$)	138.0
	売上収益	19,310
	営業利益	10,100
	税引前利益	10,430
	親会社の所有者に帰属する当期利益	3,300

(億円)

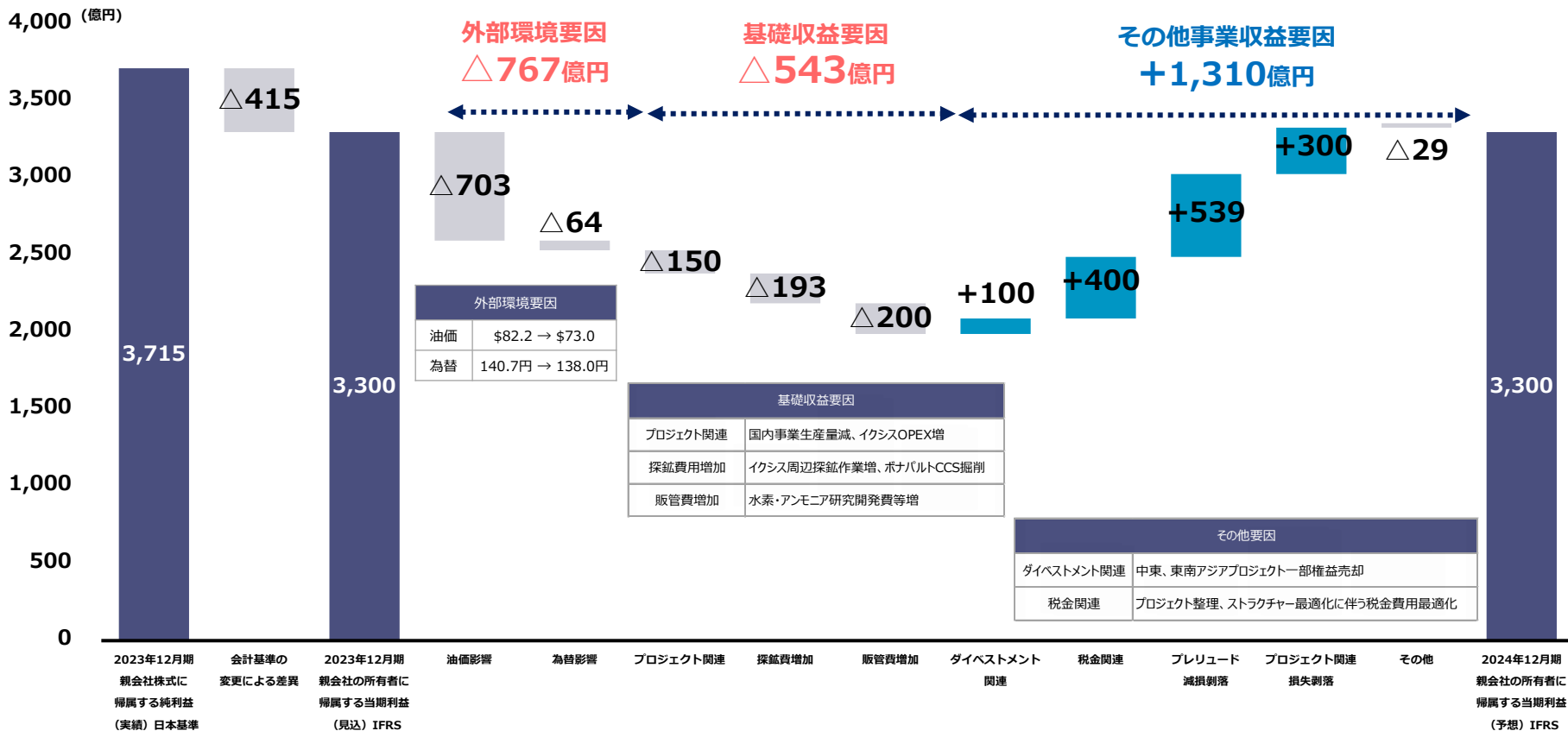
上期	Brent 油価 (US\$/bbl)	75.5
	為替レート (円/US\$)	138.0
	売上収益	10,430
	営業利益	5,440
	税引前利益	5,590
	親会社の所有者に帰属する当期利益	1,550

(億円)

下期 (参考情報)	Brent 油価 (US\$/bbl)	70.5
	為替レート (円/US\$)	138.0
	売上収益	8,880
	営業利益	4,660
	税引前利益	4,840
	親会社の所有者に帰属する当期利益	1,750

2024年12月期 業績予想 (IFRS)

増減要因分析



油価・為替変動の2024年12月期 親会社の所有者に帰属する当期利益に与える影響額*1

油価1ドル上昇（下落）した場合*2	<p>期初時点：+60億円（△60億円）</p> <p>以下の通り、期中に変化します。</p> <p>第2四半期期初時点：+41億円(△41億円)</p> <p>第3四半期期初時点：+22億円(△22億円)</p> <p>第4四半期期初時点：+9億円(△9億円)</p>
為替（円/US\$）1円 円安（円高）になった場合*3	+24億円（△24億円）

*1 原油価格（Brent）の期中平均価格が1ドル上昇（下落）した場合、為替が1円円安（円高）になった場合の、期初（2024年1月）時点における2024年12月期の当期利益に対する影響額を試算したものです。当年度期初時点における財務状況を基に試算したものであり、あくまでも参考値であること、また影響額は、生産量、投資額、コスト回収額などの変動により変わる可能性があり、加えて油価及び為替の水準により、常に同じ影響額になるとは限らない点にご留意ください。

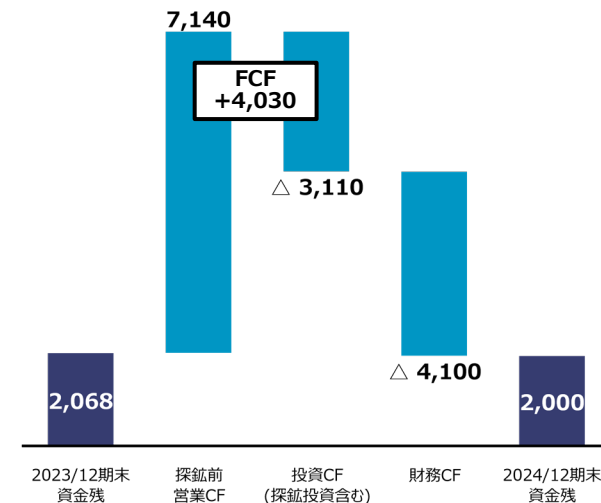
*2 油価変動が当期利益に与える影響であり、原油価格（Brent）の期中平均価格の影響を受けます。尚、ガス販売に適用される油価については遅効性があることを考慮し、下記の通り、センシティブティの四半期内訳を、試算しております。

- 第1四半期期初時点：+60億円（第1四半期：+10億円、第2四半期：+13億円、第3四半期：+19億円、第4四半期：+18億円）
- 第2四半期期初時点：+41億円（第1四半期：---、第2四半期：+10億円、第3四半期：+13億円、第4四半期：+18億円）
- 第3四半期期初時点：+22億円（第1四半期：---、第2四半期：---、第3四半期：+10億円、第4四半期：+12億円）
- 第4四半期期初時点：+9億円（第1四半期：---、第2四半期：---、第3四半期：---、第4四半期：+9億円）

*3 為替変動が当期利益に与える影響であり、期中平均為替レートの影響を受けます。尚、外貨建て資産と外貨建て負債の差から発生する為替評価損益に係るセンシティブティ（前期末と当期末の期末為替レートの差の影響を受ける）は、ほぼ中立化しております。

2024年12月期 キャッシュフロー*内訳

(億円)	2022年12月期 (実績)	2023年12月期 (実績)	2024年12月期 (業績予想)	2022-2024年 合計
探鉱前営業キャッシュフロー*	10,616	10,620	7,140	28,376
投資キャッシュフロー (探鉱投資含む)	△ 3,778	△ 5,735	△ 3,110	△ 12,623
開発投資 (石油・天然ガス分野)	△ 2,794	△ 2,296	△ 4,850	△ 9,940
開発投資 (ネットゼロ5分野)	△ 818	△ 789	△ 100	△ 1,707
探鉱投資 (石油天然ガス分野・ネットゼロ5分野含む)	△ 304	△ 446	△ 710	△ 1,460
その他 (権益の売却等を含む)	555	194	130	879
成長投資	△ 3,361	△ 3,336	△ 5,530	△ 12,227
その他 (有価証券の取得・売却等を含む)	△ 417	△ 2,399	2,420	△ 396
フリーキャッシュフロー	6,838	4,885	4,030	15,753
財務キャッシュフロー	△ 6,346	△ 5,662	△ 4,100	△ 16,108
うち株主還元	△ 2,015	△ 1,901	△ 1,320	△ 5,236
現金及び現金同等物の期末残高	2,846	2,068	2,000	2,000



* キャッシュフローは持分法適用会社のイクシス下流事業会社 (Ichthys LNG Pty Ltd) を含む

2024年12月期 業績予想 (IFRS)

調整後当期利益※1 期末投下資本※2 ROIC (%)
(億円) (億円)

	調整後当期利益※1 (億円)	期末投下資本※2 (億円)	ROIC (%)
国内O&G	200	2,311	8.5
海外O&G イクシス	2,705	40,307	6.7
海外O&G その他	1,454	13,514	10.7
その他	△ 133	1,772	△ 7.7
うち再生エネルギー	△ 6	1,516	△ 0.4
うち水素・CCUS (研究開発費等)	△ 173	-	-
連結	4,212	61,047	6.8

参考：2023年12月期 実績 (日本基準)

調整後当期純利益※3 期末投下資本※2 ROIC (%)
(億円) (億円)

	調整後当期純利益※3 (億円)	期末投下資本※2 (億円)	ROIC (%)
国内O&G	414	2,577	16.1
海外O&G イクシス	3,610	40,597	8.8
海外O&G その他	1,231	12,583	9.4
その他	△ 7	1,512	△ 0.5
うち再生エネルギー	△ 56	1,537	△ 4.7
うち水素・CCUS (研究開発費等)	△ 45	-	-
連結	5,398	62,459	8.7

*1 調整後当期利益(IFRS): 支払利息、減損損失等、非支配持分に帰属する当期損益控除前の当期損益

*2 期末投下資本: 当社連結上の資本及び有利子負債にイクシス下流事業会社のプロジェクトファイナンスを含めたもの

*3 調整後当期純利益(日本基準): 支払利息、特別損益、非支配株主損益控除前の当期純損益

參考資料

INPEX

イクシス出荷カーゴ数

	2018	2019	2020	2021	2022
LNG	11	104	122	117	112
プラントコンデンセート（陸上）	1	19	22	21	21
フィールドコンデンセート（海上）	4	29	34	32	29
LPG	2	27	34	32	30

2023年度 月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
LNG	11	11	12	10	10	11	9	11	11	10	11	12	129
プラントコンデンセート （陸上）	2	2	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2	23
フィールドコンデンセート （海上）	2	3	3	2	3	2	2	2	3	2	3	3	30
LPG	3	3	3	2	3	3	2	3	3	3	3	3	34

(億円)	2022年12月期	2023年12月期	増減	増減率
流動資産	7,294	8,182	888	12.2%
有形固定資産	24,731	24,665	△ 65	△ 0.3%
無形固定資産	4,827	4,814	△ 12	△ 0.3%
生産物回収勘定	5,215	4,833	△ 381	△ 7.3%
その他	21,069	23,295	2,226	10.6%
生産物回収勘定引当金	△ 538	△ 560	△ 21	4.1%
資産合計	62,598	65,231	2,633	4.2%
流動負債	5,267	5,658	390	7.4%
固定負債	17,107	15,381	△ 1,725	△ 10.1%
純資産*2	40,223	44,191	3,968	9.9%
(うち為替換算調整勘定)	8,159	10,067	1,907	23.4%
(うち非支配株主持分)	2,615	2,798	183	7.0%
負債・純資産合計*2	62,598	65,231	2,633	4.2%
1株当たり純資産額*2 (円)	2,879.68	3,289.78	410.10	14.2%

イクス下流事業会社（持分法適用）の要約財務情報（100%ベース、内当社株式比率は66.245%）は以下のとおり。

・流動資産	1,815億円
・固定資産*1	4兆3,369億円
・流動負債	859億円
・固定負債	3兆4,994億円
・純資産	9,330億円

*1 固定資産はFID前投資、借入金の支払利息等が含まれる。

うち、有利子負債の合計は1兆569億円。これに、オフバランスのイクス下流事業会社分を加えた当社のネット有利子負債は1兆3,202億円。

株主資本合計	+1,900億円
その他の包括利益累計額	+1,884億円

*2 2023年より一部の在外連結子会社及び在外持分法適用関連会社において、国際会計基準（IAS）第12号「法人所得税」（2021年5月改訂）を適用しており、比較年度である2022年12月期決算の数値が修正されています。

(億円)	2022年12月期	2023年12月期	増減	増減率
売上高	23,246	21,657	△ 1,589	△ 6.8%
売上原価	9,434	8,939	△ 494	△ 5.2%
売上総利益	13,812	12,717	△ 1,094	△ 7.9%
探鉱費	292	414	122	42.0%
販売費及び一般管理費	1,056	1,084	28	2.7%
営業利益	12,464	11,218	△ 1,245	△ 10.0%
営業外収益*2	3,356	3,110	△ 246	△ 7.3%
営業外費用	1,400	824	△ 576	△ 41.1%
経常利益*2	14,419	13,504	△ 915	△ 6.3%
特別損失（減損損失）	257	890	632	245.2%
法人税等合計*2	9,515	8,800	△ 714	△ 7.5%
非支配株主に帰属する純損益	36	98	61	170.8%
親会社株主に帰属する純損益*2	4,610	3,715	△ 895	△ 19.4%

販売量の増加	+366
販売単価の下落 為替	△3,200 +1,245
その他	△1

原油売上原価：	6,007
（増減）	△444
天然ガス売上原価*1：	2,769
（増減）	△99
*1 LPGを含む。	

一部の高税率国を中心に、油価下落による減収に伴い法人税等が減少。

*2 2023年より一部の在外連結子会社及び在外持分法適用関連会社において、国際会計基準（IAS）第12号「法人所得税」（2021年5月改訂）を適用しており、比較年度である2022年12月期決算の数値が修正されています。

(億円)	2022年12月期	2023年12月期	増減	備考
営業外収益	3,356	3,110	△ 246	
受取利息	646	953	307	
受取配当金	94	45	△ 49	
持分法による投資利益*2	1,656	409	△ 1,247	当期、持分法適用関連会社であるイクシス下流事業会社において金融資産の再評価関連費用を計上したことで、持分法投資利益が減少
生産物回収勘定引当金戻入益	73	—	△ 73	
為替差益	303	319	15	
金融資産の条件変更等から生じる利益*1	—	1,165	1,165	金融資産の再評価関連収益*1
その他	579	217	△ 362	
営業外費用	1,400	824	△ 576	
支払利息	323	559	236	
生産物回収勘定引当金繰入額	—	21	21	
金融資産の条件変更等から生じる損失*1	854	—	△ 854	金融資産の再評価関連費用*1
遊休資産関連費用	95	104	9	
その他	126	137	10	

*1 イクシスプロジェクト関連の在外子会社が適用する国際財務報告基準（IFRS）第9号「金融商品」に基づき計上した、認識の中止を伴わない金融資産の条件変更、及び金融資産の見積将来キャッシュ・フローの改定等から生じた損益。持分法適用関連会社との取引から生じた金額を含むため、持分法による投資利益及び税効果を加味した当期連結損益への実質的な影響は軽微です。

*2 2023年より一部の在外連結子会社及び在外持分法適用関連会社において、国際会計基準（IAS）第12号「法人所得税」（2021年5月改訂）を適用しており、比較年度である2022年12月期の数値が修正されています。

(億円)	2022年12月期	2023年12月期	増減
税金等調整前純損益*	14,161	12,614	△ 1,547
減価償却費*	2,925	2,522	△ 402
減損損失	257	890	632
遊休資産関連費用	95	104	9
金融資産の条件変更等から生じる損失	854	-	△ 854
金融資産の条件変更等から生じる利益	-	△ 1,165	△ 1,165
生産物回収勘定（資本支出）の回収額	707	840	132
生産物回収勘定（非資本支出）の増減額（△は増加）	△ 53	△ 103	△ 49
持分法による投資損益*	△ 1,656	△ 409	1,247
法人税等の支払額	△ 9,060	△ 8,290	769
その他	△ 719	859	1,579
営業活動によるキャッシュフロー	7,512	7,863	350
定期預金の預入による支出/払戻による収入	△ 39	△ 113	△ 73
有形固定資産の取得による支出	△ 1,871	△ 1,740	130
有価証券・投資有価証券の取得による支出/売却による収入	△ 1,189	△ 1,929	△ 740
生産物回収勘定（資本支出）の支出	△ 390	△ 355	35
長期貸付けによる支出/回収による収入	△ 1,768	1,483	3,251
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△ 314	-	314
権益取得による支出	△ 76	△ 287	△ 210
その他	394	△ 300	△ 695
投資活動によるキャッシュフロー	△ 5,255	△ 3,243	2,012
財務活動によるキャッシュフロー	△ 2,419	△ 4,803	△ 2,384
現金及び現金同等物の期末残高	2,116	2,008	△ 107

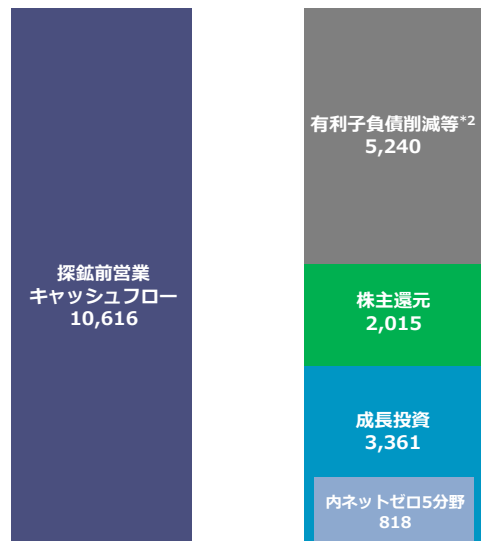
* 2023年より一部の在外連結子会社及び在外持分法適用関連会社において、国際会計基準（IAS）第12号「法人所得税」（2021年5月改訂）を適用しており、比較年度である2022年12月期決算の数値が修正されています。

探鉱前営業キャッシュフロー*1 資金配分実績及び業績予想

(単位：億円)

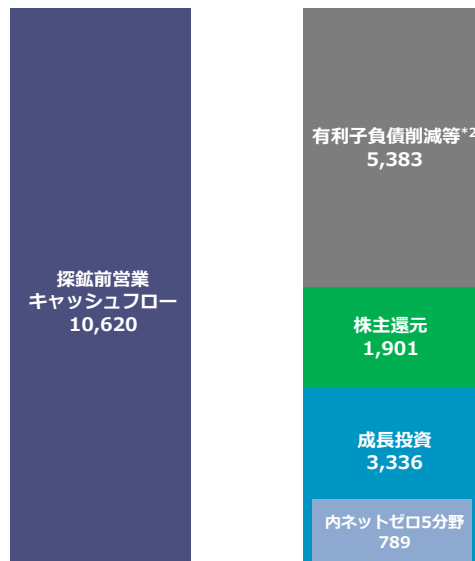
2022年12月期 実績

前提：ブレント油価99.0ドル、為替131.6円



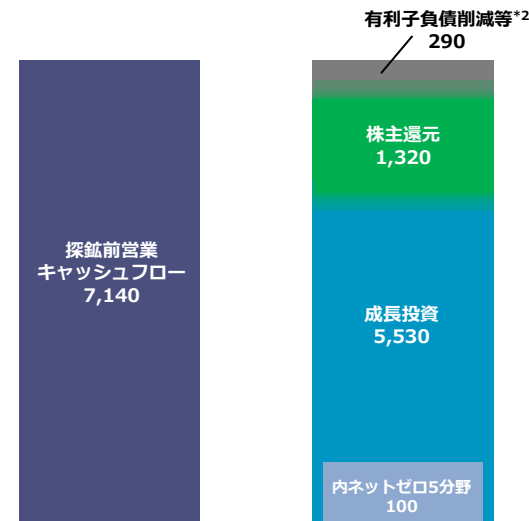
2023年12月期 実績

前提：ブレント油価82.2ドル、為替140.7円



2024年12月期 業績予想

前提：ブレント油価73.0ドル、為替138.0円



*1 キャッシュフローは持分法適用会社のイクシス下流事業会社 (Ichthys LNG Pty Ltd) を含む

*2 現預金等の増減分を含む

2023年12月期 売上高



(億円)		製品	2022年12月期	2023年12月期	増減	増減率
O&G	日本	原油	59	45	△ 14	△ 24.2%
		天然ガス (LPGを除く)	1,997	2,208	211	10.6%
		LPG	0	-	△ 0	△ 100.0%
		その他	88	75	△ 13	△ 15.6%
		小計	2,146	2,328	182	8.5%
	豪州・東南アジア	原油	2,099	1,932	△ 167	△ 8.0%
		天然ガス (LPGを除く)	2,746	2,774	27	1.0%
		LPG	8	29	20	237.9%
		小計	4,855	4,735	△ 119	△ 2.5%
	欧州	原油	1,204	926	△ 277	△ 23.0%
		天然ガス (LPGを除く)	428	261	△ 167	△ 39.1%
		その他	2	2	△ 0	△ 21.3%
		小計	1,635	1,190	△ 445	△ 27.2%
	アラブ及びその他 (中東、NIS諸国等)	原油	14,369	13,082	△ 1,286	△ 9.0%
		天然ガス (LPGを除く)	28	18	△ 10	△ 35.8%
		その他	14	0	△ 14	△ 98.8%
小計		14,412	13,101	△ 1,311	△ 9.1%	
その他	原油	53	105	51	96.4%	
	天然ガス (LPGを除く)	15	16	1	8.8%	
	LPG	25	49	23	90.3%	
	その他	101	129	27	27.4%	
	小計	196	300	104	53.0%	
合計	原油	17,786	16,092	△ 1,694	△ 9.5%	
	天然ガス (LPGを除く)	5,216	5,278	62	1.2%	
	LPG	34	78	44	127.3%	
	その他	208	207	△ 1	△ 0.7%	
	合計	23,246	21,657	△ 1,589	△ 6.8%	

2023年12月期 販売量



		製品	2022年12月期	2023年12月期	増減	増減率
O&G	日本	原油 (千bbl)	468	412	△ 57	△ 12.1%
		天然ガス (LPGを除く) (百万cf)	90,917	91,502	585	0.6%
		LPG (千bbl)	1	-	△ 1	△ 100.0%
	豪州・東南アジア	原油 (千bbl)	15,527	16,712	1,185	7.6%
		天然ガス (LPGを除く) (百万cf)	329,072	362,689	33,617	10.2%
		LPG (千bbl)	108	452	343	317.4%
	欧州	原油 (千bbl)	8,782	7,717	△ 1,065	△ 12.1%
		天然ガス (LPGを除く) (百万cf)	12,889	14,821	1,932	15.0%
	アブダビ及びその他 (中東、NIS諸国等)	原油 (千bbl)	113,339	113,183	△ 156	△ 0.1%
		天然ガス (LPGを除く)	9,187	10,464	1,277	13.9%
その他	天然ガス (LPGを除く) (百万cf)	350	338	△ 12	△ 3.3%	
合計	原油 (千bbl)	138,116	138,024	△ 92	△ 0.1%	
	天然ガス (LPGを除く) (百万cf)	442,416	479,814	37,398	8.5%	
	LPG (千bbl)	109	452	343	315.2%	

2023年12月期 生産実績*

		製品	2022年12月期	2023年12月期	増減	増減率
O&G	日本	原油 (千bbl)	964	897	△66	△6.9%
		天然ガス (百万cf)	36,836	34,427	△2,408	△6.5%
		ヨード (ton)	559	541	△18	△3.2%
		発電 (百万KWh)	194	184	△10	△5.1%
	豪州・東南アジア	原油 (千bbl)	16,546	16,679	133	0.8%
		天然ガス (百万cf)	382,632	416,762	34,130	8.9%
	欧州	原油 (千bbl)	9,186	7,723	△1,463	△15.9%
		天然ガス (百万cf)	12,859	14,490	1,631	12.7%
	アブダビ及びその他 (中東、NIS諸国等)	原油 (千bbl)	115,773	114,409	△1,364	△1.2%
		天然ガス (百万cf)	9,879	10,386	507	5.1%
硫黄 (千t)		61	153	92	150.5%	
その他		発電 (百万KWh)	744	1,543	798	107.3%
合計	原油 (千bbl)	142,468	139,708	△2,760	△1.9%	
	天然ガス (百万cf)	442,205	476,065	33,860	7.7%	
	ヨード (ton)	559	541	△18	△3.2%	
	硫黄 (千t)	61	153	92	150.5%	
	発電 (百万KWh)	938	1,726	788	84.1%	

* 海外で生産されたLPGは原油に含む